

# 平成28年度 自己評価報告書

評価対象期間 自：平成28年4月1日

至：平成29年3月31日

評価基準日 平成29年4月18日

学校法人栗岡学園  
阪奈中央看護専門学校

## 評価項目の達成および取組状況

- 1 教育
- 2 施設・設備
- 3 学生サービス
- 4 教育面などでの特筆すべき取り組み

回答責任者：副校長、看護学科教務主任、准看護科教務主任、事務次長

# 1 教育

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. カリキュラムは、貴校の教育目標をどのように反映していますか	○教育理念、教育目標を土台としカリキュラム構成を行っており、それに向かって学生を育てている。	○教員への周知を行い、教員全員が把握し、その方向に向かっているが、毎年の評価が必ずしも十分とはいえない。	5 十 分  4 ←  3 ふ つ う ○  2 →  1 不 十 分	○教育理念をより明確にさせたい。 ○カリキュラム改正に向けての教育内容の検討を行う。 ○教育目標について、個々教員への周知ならびに評価の徹底。 ○教育目標を学生へ十分に説明する。
2. カリキュラムに卒業後の職場のニーズをどのように反映していますか	○より臨床に近い環境・技術を考えている。 ○コミュニケーション力や基礎看護技術も含め、看護実践能力を強化できるよう取り組んでいる。	○臨床の研修内容も把握しながら、学内でのカリキュラム到達度も考える必要がある。 ○指導者会等で実習施設と意見交換を行い、カリキュラム内容にも反映しつつあるが十分とは言えない。 ○基礎技術の学内演習や実習により、現場に近い形で技術指導している。	5 十 分  4 ←  3 ふ つ う ○  2 →  1 不 十 分	○実習施設・関連施設からもさらに意見を聞き、より現場のニーズを反映していきたい。 ○統合実習だけでなく、現場の状況を授業や技術指導にも取り入れ、ギャップが少なくなるように努力していく。
3. 授業科目の学年進捗や時間配分は適切ですか	○バランスよく行えており、基礎から応用、統合へと段階的に進められるよう計画を立て実施できているが、非常勤講師の都合により前後することがある。 ○准看護科は時間配分が必ずしも充分とは言えない。講師決定にも若干時間を要している。	○毎年学習進度について見直しを行っているが、疾病論での非常勤講師の配置が難しい。	5 十 分  4 ←  3 ふ つ う ○  2 →  1 不 十 分	○目標に合わせているが、今後も引き続き進度調整を行っていく。
4. シラバス（授業要項）を作成していますか（内容は適切ですか）	○内容を常に参照しながら作成し、内容も教員・学生の双方から分かるよう学生便覧に明示しているが、詳細の表示まではできていない。また、各教員に任せているところもあり、適切とは言えない科目もある。	○常勤教員担当科目は年度ごとに見直しを行っているが、非常勤講師の担当科目についての見直しできていないため、全体のシラバス作りが必要である。	5 十 分  4 ←  3 ふ つ う ○  2 →  1 不 十 分	○カリキュラムの科目変更はしないが、内容については検討していきたい。 ○カリキュラム改正時期に合わせて内容を再検討し、学生への冊子配布につなげていきたい。現在、作成に向けて計画中有である。

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
5. カリキュラムの見直し体制はどのようになっていますか	○副校長、教務主任、実習担当者等各担当者の意見を聞き、さらに年度末や問題提議されたときに教務会議で見直しを行っている。 次回のカリキュラム改正を考えたがら内容の検討をする予定。	○教務会議で見直しを行っているが、時間が十分取れてはいない。 ○規定カリキュラム時間内で講義を終了するのが困難な教科もある。	5 4 3 2 1 + ← 4 3 2 1 分 ← つ → 不 分 っ 十 ○ う 分	○次回のカリキュラム改正を考えつつ、今後も教務会議等で見直しを検討していく。
6. テキストや教材をどのような基準で採用していますか	○学校の教育目標や教科の内容に合わせて採択し、数種の教本の中から講師や教務会で相談しながら決定している。	○すべてのテキストが活用されているとは言えない。	5 4 3 2 1 + ← 4 3 2 1 分 ← つ → 不 分 っ 十 ○ う 分	○学生の負担を考えながら決定し、教育内容により近いテキスト・教材を採用していきたい。 ○教科書や副読本の活用の仕方を学生に指導していく。
7. 目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか	○原則、講義・実習終了後、成績評価を行っている。通年授業では、複数回中間試験を行っている。終講試験だけでなく、課題や実技なども踏まえて、担当教員が認めた方法で評価を行っている。 ○実習評価は評価表に沿って教員及び実習指導者が合議して評価している。	○講師・教務主任・担任・実習調整者・担当者が相談し、適正な評価ができています。 ○中間に試験があることにより、学生に勉強の必要性を意識化させることができています。 ○各個人(学生)によって、目標の違いが生じる。(基礎学力の差など) ○実習施設の指導者により実習評価に差が見られることがある。	5 4 3 2 1 + ← 4 3 2 1 分 ← つ → 不 分 っ 十 ○ う 分	○講義目標を明確にし、講習会や参考書を利用してより良い評価が行えるよう検討していきたい。 ○均一した実習評価をめざし、実習調整者を中心とした協議が必要である。
8. 学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	○毎回担当講師と担任が打ち合わせをし、学生の様子を見ながら対応している。 ○学生の理解度に合わせて、各教員の判断で授業形態や授業方法を選択している。	○細かい打ち合わせはできているが、学生アンケートを見ると、一部の授業方法への不満も見られる。	5 4 3 2 1 + ← 4 3 2 1 分 ← つ → 不 分 っ 十 ○ う 分	○学生の傾向を理解し、到達目標までもっていけるよう努力したい。 ○研究授業や公開授業等を行い、教員間で検討していく。 ○学生アンケートの非常勤講師への開示も検討していく。

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
9. 学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	<p>○各担当教員がレポートや課題学習を進めている。</p> <p>○入学前に事前学習テキストを配布し、入学後に基礎学力試験を行っている。国試対策では、模試等での結果を元に補習体制をとっている。その他問題がある場合は、その都度教務会で協議する。</p> <p>○学習経験の少ない学生もおり、クラス内の学力差が大きい。</p>	<p>○講師だけでなく、各担当教員がレポート・課題学習を点検している。</p> <p>○基礎学力テストの活用が十分にできていない。</p> <p>○国試対策については、結果を元に分析中である。</p> <p>○准看護師資格試験全員合格に向け、下位10名程の強化学習をしている。</p>	<p>5 4 3 2 1 +       ふ       →       不 分   ←   つ       十       う       分       ○</p>	<p>○教務会で今後も検討していく。</p> <p>○国家試験対策は、責任者を決めチームとして行っていくか検討していく。</p>
10. マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	<p>○看護学生としてのマナー、身だしなみ等については、担任を中心に、各教員がその都度指導している。</p> <p>○言葉遣い等、再三指導の必要な場合もあるが、粘り強く対応している。</p>	<p>○全教員が常時指導を行っているが、なかなか学生に徹底できない。特に、長期休み明け等では学生の意識が薄らいでしまっている。</p>	<p>5 4 3 2 1 +       ふ       →       不 分   ←   つ       十       う       分       ○</p>	<p>○根気よく指導し、学生らしい生活ができるとともに、地域の人にも愛されるような学校にするため、今後も全教員で取り組んでいく。</p>
11. 教育技術（教育方法）の研修・研究を実施していますか	<p>○各教員に専門領域に関する学会や研修会への参加を呼び掛けているが、実習や講義等で参加しにくい状況がある。研究も同様に時間的余裕がなくあまり実施できていないが、何とか時間を工面して、研修会に行ったり、学内でも教員間で意見交換を行っている。</p>	<p>○他の教員が教室に入り、学生の発表等を聞く機会を作っている。</p> <p>○研修に参加した教員が資料の回覧等を行い、全教員が共有するようにしている。</p>	<p>5 4 3 2 1 +       ふ       →       不 分   ←   つ       十       う       分       ○</p>	<p>○人員体制に余裕がなく、雑務が多いため研究に時間がとれないが、予定を立てて集中できる環境にしたい。研究費等も考えていきたい。</p> <p>○教員の自己及び相互研鑽のため、もっと研修に参加できるような体制作りが必要である。</p> <p>○研修会に参加した教員に回覧だけでなく、伝達講習を行ってもらうことも検討していく。</p>
12. 学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	<p>○卒業時のアンケート、終講後の評価をテストなどの際に実施している。</p> <p>その結果を受けて各教員が授業内容や方法改善に取り組んでいる。</p>	<p>○学生から担任が聞く場合がある。</p> <p>○教員自身は結果を受け、前向きに取り組んでいる。検討を要する場合は教務会で協議をしている。非常勤講師に対しては、授業評価をどうとらえ反映させるかについては明確でなく、十分に生かされていない面もある。</p>	<p>5 4 3 2 1 +       ふ       →       不 分   ←   つ       十       う       分       ○</p>	<p>○非常勤講師に対する対応の仕方については検討していく。</p>

## 2 施設・設備

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. 教室の数や広さ、 附帯設備は適切ですか	○設置基準に基づき設置されている。 ○鍵のかかるロッカールームがある。 ○学生用トイレは和式のみで、けが等の学生が使用できない場合がある。 ○学生数に比べ面談室が少ないため、複数人を同時に行うのは困難である。	○トイレのタイルなどに劣化が見られる。 ○校内には洋式トイレが1階の1箇所しかないため、若年層の学生には使いにくい面もある。 ○学生数に合わない広さの教室がある。	5 + 分 4 ← つ う ○ 3 ふ つ う ○ 2 → 1 不 十 分	○各階の洋式トイレの設置を検討中である。
2. 図書室を設け蔵書を適切に揃えていますか（有効に活用されていますか）	○毎年、書籍や月刊誌等を購入している。 ○図書は専門分野ごとにある程度充実しているが、古いものもある。	○学生だけでなく、卒業生も使用しやすく良い環境である。	5 + 分 4 ← つ う ○ 3 ふ つ う ○ 2 → 1 不 十 分	○この状態が継続でき卒業生や関連施設の方にも利用していただきたい。 ○新書購入の推進
3. 実習・実験室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	○規定された通りで、学生数に合ったベッド数・広さ・物品がある。 希望すれば物品も随時購入してもらっている。 ○年2回実習室の備品点検を実施。 ○演習物品の老化等により、故障する場合もある。	○新しい器械を設営する場所や洗濯物を干す場所が少ない。 ○必要に応じて物品購入を行っているが、15年目を迎え、買い替えが必要となってきた。修理可能なものはその都度対応している。	5 + 分 4 ← つ う ○ 3 ふ つ う ○ 2 → 1 不 十 分	○倉庫についても考えていきたい。 ○段階を追って新規購入が必要である。
4. 最新機能を備えた視聴覚機器や情報機器は足りていますか（有効に活用していますか）	○必要な機器購入はできている。 関連施設も利用できている。 ○数は十分だが、長年の使用により、故障やトラブルも見られる。 ○AV機、パソコンの利用は有効に行えている。	○有効利用できている。 ○パソコンの台数、DVD購入等、計画的にできているわけではない。	5 + 分 4 ← つ う ○ 3 ふ つ う ○ 2 → 1 不 十 分	○最新の情報を得ながら看護基礎教育を考えていきたい。 ○担当教員の要望などを整理していきたい。
5. ニーズに応じた学生寮を保有していますか（有効に活用されていますか）	○学生寮はあるが、設備等が古くなってきているものもある。 ○男子寮と女子寮がある。 ○地元出身者の割合が多いことから、利用者は比較的少ない。	○女子寮は少し離れているため、利用者は限られている。 ○広報など事務方と共に教員も情報を共有する必要がある。 ○男子寮は部屋の間取り等により家賃に差がある。女子寮は部屋がやや狭い。乾燥機能付き洗濯機はあるが物干し場はない。	5 + 分 4 ← つ う ○ 3 ふ つ う ○ 2 → 1 不 十 分	○寮の環境等を考える必要がある。 ○男子寮は電気設備の改修。女子寮は共同キッチンの増設と物干し場の設置が実現すれば、さらに住みやすい環境となる。

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
6. 体育館や運動場などを保有していますか（有効に活用されていますか）	○姉妹校に体育館はあるが運動場はない。体育館は授業やレクリエーション・卒業式等で年に数回利用している。	○関連施設のバスで体育館まで送迎もあり利用している。	5 4 3 2 1 +      ふ      不 ←      つ      →      十 分      う      分 ○	○今後も学生のため、バス送迎も含めて利用していきたい。 ○今年度より一般の方にも開放している。

### 3 学生サービス

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. クラス担任制をとり修学に問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	○問題がある学生については、教務会議で対応等について話し合いをしている。本人・家族にも連絡をとり、場合によっては保護者にも来校してもらい、教務主任と担任が対応する。 ○多くの学生が複数の問題をかかえているが、鋭意対応している。	○担任を中心に、どの教員も学生対応ができており、学生の悩みを聞き、解決方法を考えている。 一方で、教員はその対応時間が長くなっている。	5 4 3 2 1 +      ふ      不 ←      つ      →      十 分      う      分 ○	○引き続き教職員一同協力していきたい。 ○問題がある学生が増えてきていることから、教員の対応時間が長くなっているため、他の業務に支障をきたさないような業務分担を再構築する必要がある。
2. 学生に対してカウンセリング（心理相談）を行っていますか	○週 1 回臨床心理士によるカウンセリングを実施している。 ○教員が個別に対応していることもあるが、その対応方法も臨床心理士と連携を取り、相談しながら学生対応している。必要時には、臨床心理士のカウンセリングを受けさせている。	○教務主任を中心によく面談し、教員全体が把握、対応している。（学生の相談に応じることが理事長の方針である。） ○臨床心理士が授業も担当してくださっており、学生にとっては安心できる環境である。 ○臨床心理士との連携はできているがカウンセリング受付時間に限りがあるため、予約を取るのに時間を要する状況も見受けられる。	5 4 3 2 1 +      ふ      不 ←      つ      →      十 分      う      分 ○	○学内でよく相談の上、病院受診等を家族に連絡していきたい。 ○臨床心理士の常駐が（少なくとも週 2 回）望ましい。
3. 教室以外に休憩スペースが適当に置かれていますか	○各階にラウンジはあるが、全クラスの学生が座れるだけのスペースはない。	○単位認定者の休憩場所がないため、現在図書室を利用している。 ○食事をしたり、歓談したりするスペースがあまりない。	5 4 3 2 1 +      ふ      不 ←      つ      →      十 分      う      分 ○	○もう少し余裕のあるスペースがほしい。 ○現状では、スペース的に限りがあるため、ラウンジを拡張するには吹き抜け部分の使い方を検討する必要がある。

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
4. 食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	○平日は弁当屋さん、週2回はパン屋さんも販売に来てくれている。 ○食堂がないため、学生はラウンジや教室で食事を取っている。	○学生数に比べて場所に限りがあるため、学生のほとんどは教室で食事をとっている。 ○お弁当は注文制なので対面販売への希望は多い。パン販売は好評である。	5 4 3 2 1 +      ふ      不 ←      つ      → 分      う      十 ○      分	○もう少し学生が昼食や歓談で使える余裕のあるスペースの確保を検討していく。
5. 学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	○学園としては行っていないが、関連医療法人の奨学金制度があり、1クラスに5～6名は利用している。	○関連施設の奨学金制度が改定され、実質貸付制度となった為、関連施設への就職につながらない可能性がある。 ○給付型としての資格要件がやや厳しい。	5 4 3 2 1 +      ふ      不 ←      つ      → 分      う      十 ○      分	○準給付型奨学金制度とは別に、完全給付型奨学金制度の新設が望まれる。
6. その他	○教員数も定数を充足しており、退職者もほとんどいない。 ○京阪寝屋川市駅から JR 忍ヶ丘駅経由のスクールバスが今春より運行開始となった。	○働きやすい職場づくりができています。 ○近鉄生駒駅からのスクールバスがない。	5 4 3 2 1 +      ふ      不 ←      つ      → 分      う      十 ○      分	○学生の質・教員の質ともに高めていきたい。 ○近鉄生駒駅からのスクールバス運行を検討していく。



## **4 教育面などでの特筆すべき取り組み(自由記入)**

- 医療法人和幸会と学校法人栗岡学園が連携し、目的が達成できるよう協力していきたい。
- 一人でも多く関連病院に就職してほしいと願っているため、学校としては図書室の開放、診療用具の貸借のほか、関連施設合同会議、管理者会議で情報交換も行っている。
- 学生・業務内容・看護技術に関すること等について話し合い、研修し、お互い質を高めたいと考えている。
- 学生に対し、効果的な教育支援をしていくためには、定期的な授業内容の見直しや、全教員による自己点検自己評価の実施が必要である。  
入学志願者の減少も考えられることから、全職員で学校の強み・弱みを検討し、魅力ある専門学校作りが必要である。
- 10年前とは学生の生活習慣や経済状況も変化していることから、より時代に合った学校整備（トイレ・スクールバス・奨学金など）を検討していく必要がある。